

《令和5年度阿南市在宅医療・介護連携支援センター事業》  
第3回 阿南市在宅医療・介護連携推進会議

開催日：令和6年3月28日（木）

時 間：18：30～20：00

場 所：阿南市役所303会議室

1) 会議名：第3回 阿南市在宅医療・介護連携推進会議

目 的：阿南市在宅医療・介護連携事業の取組や課題に対して助言や対応策を議論し、具体的な解決策を見出す。また、多職種が顔の見える関係づくりの構築及び連携強化。

出席者：委員7名、事務局5名

2) 挨拶

3) 協議事項

(1) 今年度の事業報告及び評価について

- ・ 阿南市在宅医療・介護連携支援センターのHPについて
- ・ 医療サービス連携シートについて
- ・ 阿南市通所・訪問リハビリ情報について
- ・ 阿南市在宅医療・介護連携事業アンケート結果について
- ・ 阿南市在宅医療・介護連携支援センター連携シートについて  
(居宅介護支援事業所・お世話センター)
- ・ 令和5年度阿南市在宅医療・介護連携支援センター事業 各会議委員メンバー一覧について（阿南市医師会より渡邊氏が追加）
- ・ 令和5年度阿南市在宅医療・介護サービス事業所連絡会部会長一覧について
- ・ 阿南市在宅医療・介護連携推進会議の報告書（R5.8.31、R5.12.21）
- ・ 阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議の報告書（R5.6.14、R5.10.25、R6.1.24）
- ・ 阿南市在宅医療・介護サービス事業所連絡会（部会長会）の報告書（R5.5.18、R6.1.25）
- ・ 当センターの取組を周知・広報するため、各会議・イベント等でリーフレットを配布。また、委員の皆様にご協力いただき、阿南市内の病院・歯科医院・薬局・訪問看護事業所へリーフレットを配布。

- ・阿南市在宅医療・介護サービス事業所連絡会の報告書
  - ①居宅介護支援事業所部会（R5.5.26、R5.10.20）
  - ②介護老人保健施設・通所リハビリ・訪問リハビリ部会（R5.8.31）
  - ③（看護）小規模多機能型居宅介護部会（R5.9.12、R6.3.14）
 他の部会については、計画をしておりましたが施設・事業所での感染症拡大等を受け、今年度の開催はできなかった。
- ・ケアカフェの報告書（R5.7.19、R5.11.28、R6.2.20）
- ・ACP「人生会議」の報告書（R6.2.16）
- ・阿南市在宅医療・介護連携支援センター相談記録簿 ※相談件数57件
- ・阿南市在宅医療・介護連携支援センターリーフレット

報告書にはないが、お世話センター連絡会や阿南市の各種委員会に参加。  
また、R6.2.17に阿南市医師会が開催したACP研修会へファシリテーターとして参加。

#### 《委員からの意見》

- ・相談窓口の案内はどのようにしているのか。
  - ⇒リーフレットを各公民館や各種イベントで配布。また、医師会・薬剤師会・歯科医師会の協力を得て、阿南市内の各医療機関へ配布。福祉・介護事業所にも各部会を通じてリーフレットを配布し、周知を行っている。
  - また、高齢者のみならず、子どものことについての相談や問い合わせもあり、関係機関と連携を図っている。
- ・在宅医療・介護連携支援センターの取組で、現場の見学会等を行い、連携強化を図ってはどうか。
  - ⇒当センターの取組として、各部会・代表者会・ワーキンググループ会議で議論し、要望に応じていきたい。
- ・今年度の事業を終えてセンターとして課題はあったか。
  - ⇒医療連携シートについて、活用していない機関がある。来年度、阿南保健所の協力を得て、多くの機関が共通ツールで活用できるようにしていきたい。

#### (2) 市民公開講座について

今年度より、地域に出向いて講座を開催した。羽ノ浦町の春日野ご近所デイサービス利用者を対象に開催し、講師として、阿南医療センター寺嶋氏にACPの講義をいただいた。

来年度以降も、お世話センターの圏域ごとに開催したいと考えている。

高齢者お世話センターと連携し、講座内容についての希望を事前に募り、また、開催については、今年度と同様に圏域ごとに実施したい。

#### 《委員からの意見》

- ・家族の方も参加対象にしてはどうか。また、ACP研修は阿南市が徳島県内でも積極的に取組を行っているので継続していただきたい。
  - ⇒ACP研修は来年度、2回の開催を計画している。今後、受講者を中心に講義等

を行い、普及・啓発に繋げていく。また、家族も参加できるような研修会を考案する。

### (3) 来年度の事業計画について

切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を目指し、阿南市高齢者福祉計画・第9期阿南市介護保険事業計画に沿った運営に尽力したい。

#### ①阿南市在宅医療・介護連携推進会議

本会議は事業計画の承認・報告、議題に対する対応策の検討の位置づけとして、阿南市の在宅医療・在宅介護の連携を推進に関する事業計画の承認及び報告並びに抽出された課題に対する対応策の検討することを目的とする。

変更点について、来年度より年1回の開催とし、3月に実施する。

#### ②阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議

議題等に対する解決の場として、阿南市の在宅医療・在宅介護の連携を促進するため、必要な医療・介護に関する課題に対する解決策の検討を行うことを目的。

変更点は、来年度より高齢者お世話センターの代表者を委員に加え、連携強化を図る予定。また、必要に応じて阿南消防署へ参加依頼を行う。

#### ③阿南市在宅医療・介護サービス事業所代表者会

阿南市の在宅医療・在宅介護の切れ目のない体制を構築するため、各事業所部会の代表者が集まり、「阿南市在宅医療・介護サービス事業所部会」から抽出された課題の検討及び事業所間の情報共有を行うことを目的とする。

変更点は、来年度より通所介護部会、訪問介護部会、高齢者お世話センターの基幹型・主任ケアマネ部会、保健師部会の代表者を委員に加え、連携強化を図る。

#### ④阿南市在宅医療・介護サービス事業所部会

事業所における課題の抽出や検討の場として、阿南市の在宅医療・在宅介護の連携を推進し、同業種のサービス機関の連携を図り、在宅医療と在宅介護の切れ目のない体制を構築することを目的として設置。

また、各部会において抽出された課題を「阿南市在宅医療・介護サービス事業所代表者会」において検討。

変更点は、部会名を「阿南市在宅医療・介護サービス事業所連絡会」から「阿南市在宅医療・介護サービス事業所部会」へ変更。

さらに、来年度より通所介護事業所部会・訪問介護事業所部会、高齢者お世話センター部会を新たに立ち上げる。全9部会で年2回部会の開催を予定。

最後に、ホームページに掲載する部会の報告書の様式を統一する。

## ⑤ケアカフェ

大きな変更点はない。今後も、課題や要望に沿った多職種連携研修会を開催したい。

### 《委員からの意見》

- ・組織が明確になり、良い仕組みでの計画ができている。
- ・（阿南保健所より）阿南市の退院支援連絡実施率は99%である。在宅医療・介護連携支援センターの取組を今後も継続していただきたい。

### (5) その他

- ・ICTの取り組みについて

現在、代表者会のメンバーでグループLINEを作成し、連絡等の効率化を図っている。今後、阿南市が導入を検討しているツールを活用して効率化に繋がってきたい。

⇒地域共生推進課より、阿南市としてシステム種別は決定していないが、ICTツールの導入を検討している。

### 【会議風景】



報告者：センター長 湯浅